

## (6) 東海



東海地域では、景気は緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す  
(  は上方に変更、  は下方に変更)

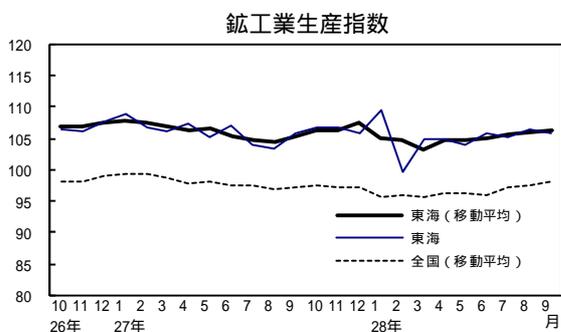
### 前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 28 年 8 月)	今回 (平成 28 年 11 月)	
住宅建設	おおむね横ばい	増加	

### 1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。

7～9月期には、輸送機械は、乗用車が増加したこと等から増加した。電子デバ、電気・情報通信は、スマートフォン用電子部品等が増加したことから増加した。石油・石炭製品、化学、プラ製品は、工業用プラスチック製品等が増加したことから増加した。汎・生産・業務用機械は、減少した。鉄鋼業、非鉄金属、金属製品は、減少した。



### 域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		4～6 月期	7～9 月期	7月	8月	9月
輸送機械	35.2	3.7	1.0	1.8	0.8	2.8
電子デバ、電気、情報通信	19.7	5.4	2.8	1.0	4.8	5.3
石油・石炭製品、化学、プラ製品	14.9	3.7	1.8	2.0	1.1	0.7
汎・生産・業務用機械	8.9	3.2	0.9	1.1	2.6	0.6
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	8.0	1.6	3.0	2.0	0.9	2.0
鉱工業	100.0	0.1	0.9	0.5	1.0	0.4

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 7-9月期、9月は速報値。

(備考) 1. 22年=100、季節調整値。最新月は速報値。

2. 全国及び東海の太線は中心3か月移動平均。  
直近月は2か月平均。

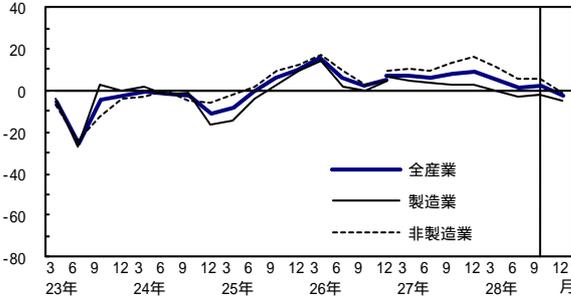
3. 東海は内閣府にて算出。

(2) 名古屋支店の企業動向の業況判断は「良い」超幅が横ばいとなっており、資金繰り判断は「楽である」超幅が拡大となっている。

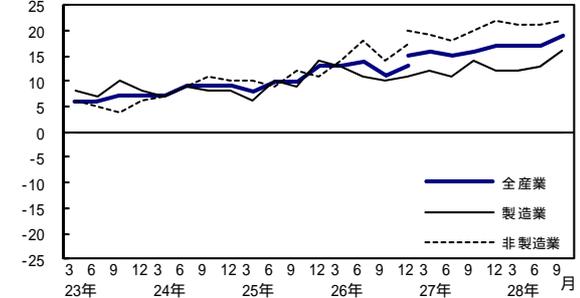
静岡支店の企業動向の業況判断は「良い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「楽である」超幅が拡大となっている。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査

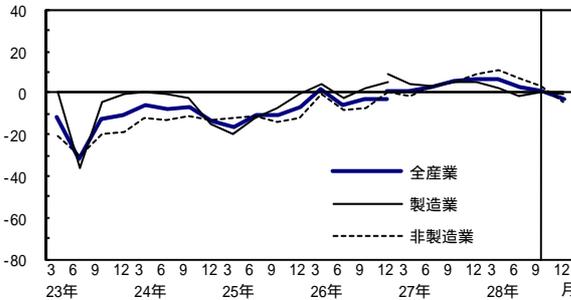
(%ポイント) 名古屋支店 企業短期経済観測 [業況判断]



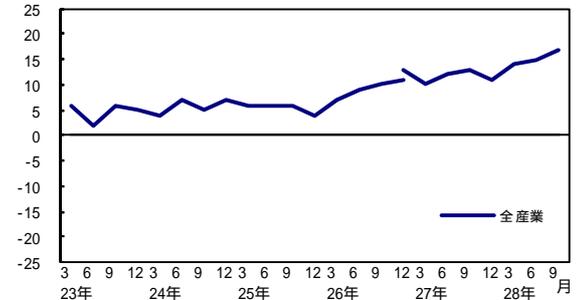
(%ポイント) 名古屋支店 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



(%ポイント) 静岡支店 企業短期経済観測 [業況判断]



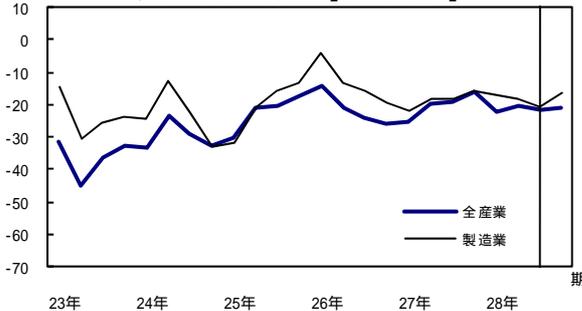
(%ポイント) 静岡支店 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。28年12月は予測。26年12月は新・旧基準を併記。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。26年12月は新・旧基準を併記。

(%) 中小企業景況調査 [業況判断]



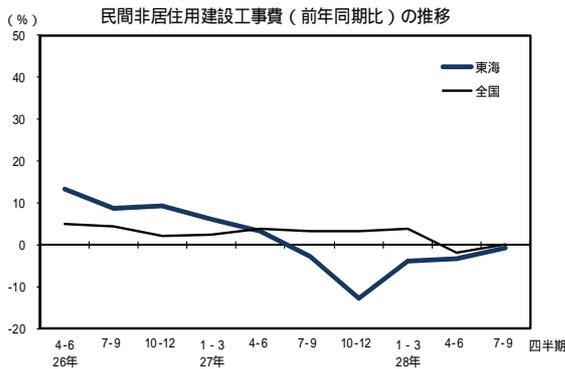
(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。28年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(10月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「販売価格は相変わらず低いが、受注量が増加している(金属製品製造業)」などの回答がみられた。

(6) 東海

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事はおおむね横ばいとなっている。



企業短期経済観測調査 [ 設備投資 ( 9月調査 ) ]

	(前年度比、%)	
	27年度実績	28年度計画
全産業		
名古屋支店	14.2	10.8
静岡支店	9.6	6.6
製造業		
名古屋支店	16.6	12.3
静岡支店	17.1	13.6
非製造業		
名古屋支店	11.5	9.0
静岡支店	1.8	1.6

(備考) 22年度以降は、計画はリース会計対応ベース。

2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直しの動きがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

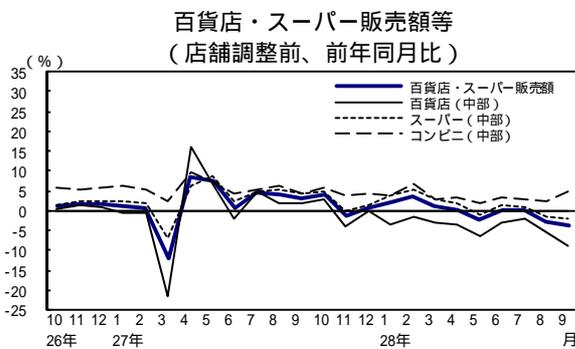
7月は前月比1.5%増、8月は同0.6%減、9月は同1.0%減となった。

百貨店・スーパー販売額

百貨店は、7～9月期に衣料品が振るわなかったことから、前年を下回った。スーパーは、飲食料品、衣料品が振るわなかったことから、前年を下回った。

景気ウォッチャー調査 (10月調査結果) [ 家計動向関連 (現状) ]

「野菜と同様に長雨と日照不足で菊系の切り花等がかなり高騰し、売値の設定にも困っている。ボリュームを出しながら1束当たりの本数を減らす工夫をしている (一般小売店 [ 生花 ] ) 」など「変わらない」とする回答が増加した。



	28年7-9月	28年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	0.5	1.5	0.6	1.0
百貨店・スーパー(*2)	2.0	0.2	2.6	3.9
百貨店(*3)	5.2	1.9	5.7	8.8
スーパー(*3)	0.8	0.9	1.4	1.9
コンビニ(*3)	3.2	2.7	2.3	4.6
乗用車(*4)	2.4	0.2	2.1	4.9
(季節調整値)(*4)	0.5	1.3	4.2	0.5

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

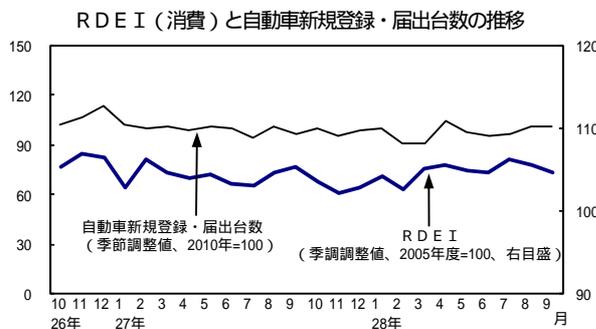
2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

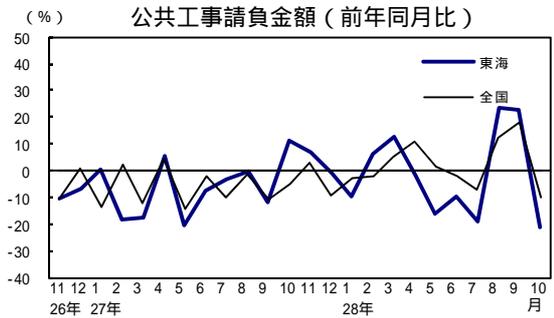
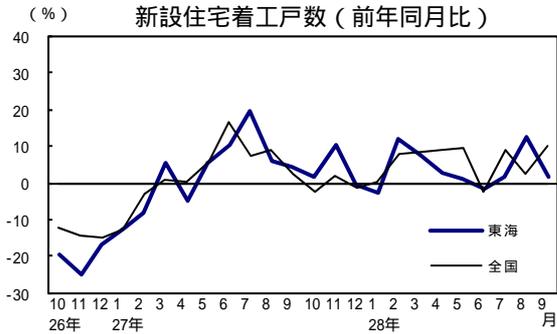
3. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店、スーパー及びコンビニは、経済産業省の中部 (富山、石川、岐阜、愛知、三重) の値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期(月)比 (%))

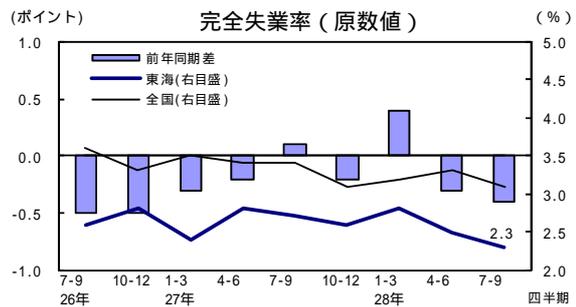
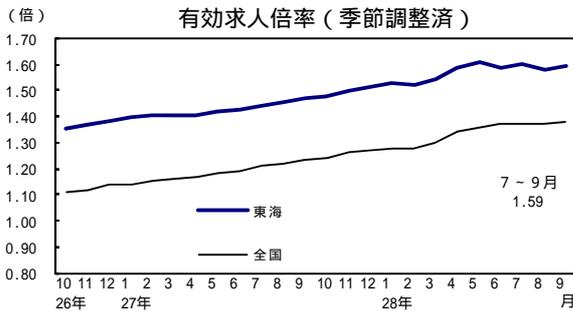


- (2) 住宅建設は増加している。  
分譲が前年を下回ったものの、持家、貸家が前年を上回ったことから、全体では増加している。
- (3) 公共投資は28年度累計で見ると前年度とほぼ同水準となっている。



### 3. 雇用情勢等

- (1) 雇用情勢は着実に改善している。  
有効求人倍率及び完全失業率  
有効求人倍率はおおむね横ばいとなっている。完全失業率は前年同期を下回っている。



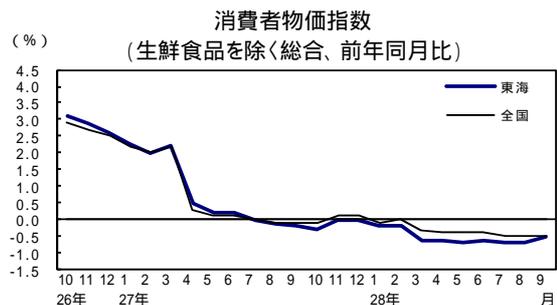
#### 景気ウォッチャー調査 (10月調査結果)[雇用関連(現状)]

「新規求人数は前年同月比で増加しており、正社員の求人も増えている。新卒者の求人も前年同月より増加し、企業の積極的な姿勢が目立つ(職業安定所)」などの回答がみられた。

- (2) 企業倒産は、件数はおおむね横ばい、負債総額は減少している。
- (3) 消費者物価指数は、前年比の下落幅がおおむね横ばいとなっている。

#### 企業倒産

	(件、億円、%)				
	27年10-12月	28年1-3月	4-6月	7-9月	28年10月
倒産件数	215	244	271	252	80
(前年比)	21.2	2.0	4.6	0.4	2.4
負債総額	319	386	535	326	136
(前年比)	16.9	46.1	6.6	33.0	46.0



(6) 東海

景気ウォッチャー調査(10月調査結果)[合計(特徴的な判断理由)]

<現状>

- ・前月は悪天の影響が大きく低調であったが、今月はカバーできるくらい客の動きが良くなっている。伊勢志摩サミットの効果は続いている(一般小売店[土産])

<先行き>

- ・受注の見込み情報が、増加傾向にある(一般機械器具製造業)

景気ウォッチャー調査(季節調整値)

